



「地域福祉講演会」を開催しました

平成29年11月14日（火）

一宮地場産業ファッションデザインセンター

※この講演会は、共同募金の配分金を財源に実施いたしました。

神奈川県平塚市港地区町内福祉村 渡邊孝会長による「交流あってこそ助け合い」～町内福祉村って、どんな取り組み？～と題した基調講演と港地区町内福祉村の皆さんによる活動紹介をしていただきました。

町内福祉村って？

地域の皆さんが気軽に立ち寄れる「居場所」としてのふれあい交流活動を行っています。

- ・サロンのように気軽に立ち寄れる場所。
- ・制度によるサービスでは解決できない「ちょっとしたお手伝い」を行う場所。
- ・「地域の困った！」を受け止め、課題解決する場所。
- ・地域のボランティアの拠点。
- ・住民と関係機関を繋ぐ「住民コーディネーター」の居る場所。



参加者の感想

- ・地域の人達が本当に必要なこと、不安なことなど意見を出し合って立ち上がり、地域の関係施設、団体などと一緒に日常の助け合いから、もしもの被災の時を考えての活動は素晴らしいと思った。
- ・サロンに参加したら必ず皆が同じことをしなければいけないというスタンスではなく、「今日はこんなことをやるけど、良かったら一緒にやりませんか？」ぐらいで、枠にはめない、押し付けはしない、自由な感じがとても共感が持てました。

一宮市の福祉を支える社協会員に

社会福祉協議会会員募集のお願い

一宮市社会福祉協議会では、「誰もが、いつまでも、安心して暮らせるまち」を目指して、市民の皆様にも様々な形でご参加いただき、一緒に考えながら、地域福祉の推進に取り組んでいます。

市民の皆様方に参加いただく1つの手段として、社会福祉協議会では会員制度を設けています。本会の趣旨や活動にご賛同いただき、会費を納入いただいた個人や団体の方々协会会员となります。ご協力いただきました会費は、各連区に設置している地区社会福祉協議会（支会）に還元され、各連区の地域福祉推進のための貴重な財源として有効に活用されております。

会員の種類と年会費

一般会員	500円
法人会員	1,000円
団体会員	500円×世帯数

地元の町会長さん、役員さんが訪問されましたら、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

会員募集の流れ

